

令和6年度 シラバス

教 科	農 業	学科・学年	生産科学科 第3学年	単位数	2単位
		教科書	生物活用（実教出版）		
科 目	生物活用	副教材	なし		
科目の目標	(1) 生物活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に着けるようにする。 (2) 生物活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 生物活用について特性を理解し、効率的な利用へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
評価の観点	知識・技術【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【主】		
趣 旨	園芸や社会動物が人の健康にもたらす効用体験や生物を活用した交流活動などを通して、緑のある県境の健康化と交流対象となる人の発達段階や健康についての基礎的な知識と技術を体系的・系統的に理解し身に付けている。	地域に暮らす人々の健康に関する課題を発見し、緑のある環境や園芸が健康増進につながるよう科学的な根拠などに基づいて交流活動を計画し、職業人として倫理観を持って生物活用に関する課題について創造的に解決する力を養っている。	園芸や社会動物を活用する学習を通して、地域の人々の生活の質の向上を目指し、健康増進を付加した農業の振興や社会貢献に、自ら課題解決に向けた意識をもって主体的かつ協働的に取り組む態度を養っている。		

学期	学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			評価規準	評価方法
			知	思	主		
一 学 期	第1章 生物活用の意義 と役割	○意義と役割について、農業や関連産業での利用の可能性や課題との関連から捉える。 ○生物活用に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に考察する。 ○生物活用について生物の特性を理解し、生活の質の向上につながるよう課題について考察する。	○			・意義や役割について理解し、関連する技術を身に付けている。	小テスト
				○		・意義や役割に関する課題を発見し、科学的根拠により創造的に解決できる。	ペーパーテスト
	第2章 園芸作物の栽培 と活用	○草花の栽培活用について、自ら学び取り組む。 ○園芸デザインとその技術に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて考察する。 ○地域緑化・植栽について自ら学び主体的に学習する。	○		○	・意義と役割について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・草花の栽培に関する実習を通して、学習の意義や進め方について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	ワークシート ペーパーテスト
				○		・園芸デザイン技術や課題を発見し生活の質が向上するよう科学的根拠に基づいて考察できる。 ・校庭の緑化、植栽の手入れを通して、適期作業について理解したうえで、管理作業を行おうとする。	ワークシート 小テスト 実習
二 学 期	第4章 生物を活用した 療法	○緑のある環境、園芸が健康にもたらす特性を理解し生物を活用する技術や知識を身に着ける。 ○学校の庭園や農場など緑の景観が人に与える心理・身体・社会的特性などを理解し社会的な意義や魅力について理解を深めようと努力する。 ○緑が人に与える影響について、自ら学び主体的に学習する。	○			・農業や園芸など緑のある暮らしや環境が人の健康や生活の改善に活用されてきた経緯や役割を理解している。	ワークシート 小テスト 実習
				○		・屋内緑化、ガーデニングとのかかわりが健康増進につながることを理解し、自ら積極的に関わろうと努力している。	ペーパーテスト
					○	・公園や学校の庭園の役割や人に与える影響を理解し、交流や健康増進の機能が維持できるように調査・検討し、行動しようとする。	実験実習 レポート
三 学 期	第5章 生物活用の実践	○外部機関や地域との連携をはかりながら適切な活動を展開する。 ○生物を活用した活動の実際を理解し、効果的な交流活動について考察する。			○	・地域で必要とされる農業や緑の役割を認識し、活動計画を考え、創造的に解決しようとする。 ・生物活用の実践例を理解し、科学的な根拠に基づいて考察できる。	ワークシート 小テスト 実習 ペーパーテスト レポート
				○			

